



【エイプリルフール】

今回は、4月1日といえば多くの方がご存じの「エイプリルフール」について取り上げます。そもそも「エイプリルフール」とは、毎年4月1日には嘘をついてもよいとする風習です。西洋にはじまり、その後世界へと広まりましたが、起源については諸説あり、正確な由来は不明とされています。日本には大正時代に、「April(エイプリル)」と「Fool(フール)」を直訳した「四月馬鹿」として伝わってきました。実はかつての日本では、中国から伝わった風習として4月1日は「不義理の日」とされ、日頃ご無沙汰しがどうか。

ている人に手紙を書いて不義理を詫びる日だったそうです。

なお、「エイプリルフール」にはさまざまな解釈があり、その一つに【嘘をついてよいのは午前中のみ】というルールがあるのをご存じでしょうか。これはイギリス由来とされ、午前中に嘘をついた場合、午後にはネタばらしをすることがマナーの一つになっているそうです。嘘も使い方次第です。人を傷つけたり騙したりするのではなく、みんなが笑顔になれるような楽しい嘘で「エイプリルフール」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

No.07 天星★二都物語

Episode.6
【ところ変われば“桃”変わる!? 笛吹と浜松の桃比べ】

山梨県は言わずと知れた桃の名産地。令和5年度の都道府県別の桃の収穫量は全国1位を誇ります。中でも笛吹市は高品質な桃の産地として知られており、**収穫量はぶどうと共に県内ナンバーワン**。「桃・ぶどう日本一の郷」を宣言しています。片や静岡県は柑橘類の優良品種の発祥地ですが、温暖な気候で育つくだものの栽培も盛んで、浜松市では桃の栽培も行われています。今回は、笛吹市と浜松市の桃について、調べてみました。



山梨県ではおよそ200年前から桃が栽培されています。県内でも笛吹市を含む峡東地域は桃の一大産地。温室や露地でつくられた桃は、5月上旬から8月中旬にかけて市場に出回ります。品種は収穫時期により、極早生（ごくわせ）、早生（わせ）、中生（なかて）、晩生（ばんせい）、極晩生（ごくばんせい）に分かれます。笛吹市の桃は早生と中生が主で、果肉がやわらかく果汁たっぷりの「日川白鳳（ひかわはくほう）」、果肉が緻密で甘みが強い「白鳳（はくほう）

う）」、大玉で果皮が鮮やかな紅色の「浅間白桃（あさまはくとう）」、同じく大玉で果汁が多く硬めの「なつっこ」などが代表品種です。目にする桃の移り変わりによって季節の変化を感じられるのは、まさに桃大国ならではですね。香り、甘みと酸味のバランス、果肉の色や硬さ、果汁の量など品種によって味わいが大きく異なるので、きっと気に入る桃を見つけられるでしょう。

山梨県が桃の生産量日本一になったのは昭和40年代。豊富な日射量、昼夜の気温差が大きい気候、傾斜地や河川流域の水はけの良い土壌など、生育に適した環境が生産量向上につながったそうです。

一方、日射量や土壌などの条件を満たす浜松市でも桃を栽培しています。**浜名区は柑橘類を筆頭に果樹栽培に力を入れている農家が多く、ぶどうや温室メロン、柿、ブルーベリーなど、地産の新鮮なくだものに恵まれたエリアです。**浜名区のとある桃農家さんでは、山梨生まれの「日川白鳳」や「はなよめ」をはじめ、数種類の早生桃を栽培しています。

農林水産省によると、日本には生食用の桃が100種類もあるといいます。その中からいろいろな品種を植えた結果、浜名区でおいしく育つのが早生種だそうです。また、温州みかんをメインにしつつ他の果樹も育てており、早生桃はちょうど温州みかんの農閑期に作業ができることも理由だと。浜名区生まれの桃が出来る時期は短いので、店頭で見つけたらぜひ手に取ってみてください。

笛吹市と浜松市、同じ品種の桃でも味わいはきっと違うはず。それぞれの土地の桃、食べ比べてみたいですね！



【参考資料】
JAふえふき
<https://www.ja-fuefuki.or.jp>
農林水産省
https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/1905_06/spe2_01.html

<発行>

Q 天星製油株式会社

検索



天星Magazine vol.18 2025年4月号

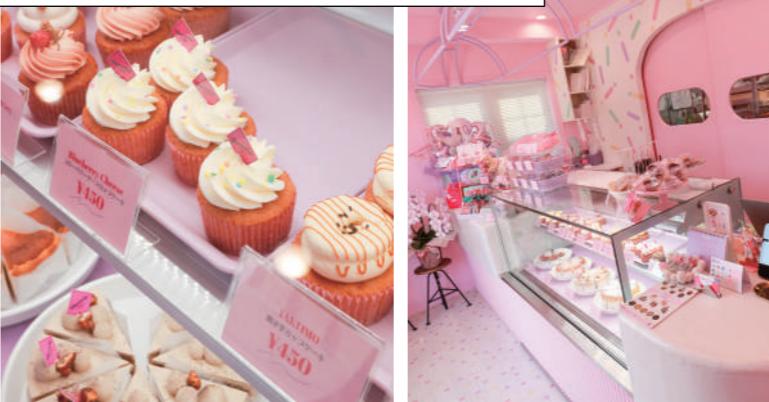
※この冊子が不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルにご協力ください。

天星 Magazine

No.01 編集長カワイのご近所探訪記 file#12

みんなが笑顔になる！

幸せ広がるアメリカンスイーツ



Sherrie Cakes

シェリーケイクス
住所：浜松市浜名区新原2633-1
松原 菜摘さん(右)



instagram



川合：本日は、昨年11月にオープンしたアメリカンスイーツ専門店「Sherrie Cakes（シェリーケイクス）」さんにお邪魔しています。それでは早速、松原さんがケーキ屋さんを始めたきっかけを教えてください。

松原：私の家は祖父や父が板前をするなど、食品業界に関わる人が多く、私も幼い頃から「食に関しての何らかの職人になるかもしれない」と思っていました。子どもの頃から料理を手伝うことが多く、特に菓子作りに惹かれてパティシエを目指しました。洋菓子店やチョコレート店での経験を積み、出産をきっかけに「自分の店を持ちたい」という気持ちが強くなりました。実は自分のお店を持ちたい願望はずっと抱いていたので、自宅を購入する際に小さな店舗がある物件を選んでいたんです（笑）。

川合：店内がすごくカラフルなのが印象的で、お店に入った瞬間に華やかな気分になりますね！店舗へのこだわりはありますか？

松原：昔からアメリカ文化が好きで、子どもの頃もバービー人形で遊んでいました（笑）。特に80年代のレトロでポップなデザインが好きで、お店もその雰囲気にしたかったんです。ドアノブや照明などの細部にまでこだわり、ピンクが好きなので、道具や装飾もピンク系で統一しました（笑）。

川合：店内は淡いピンクですが、お菓子作りをする作業スペースは濃いピンクで統一されていて、一度見たら忘れられない印象ですね。スイーツの見た目も可愛らしくて素敵です。商品へのこだわりも教えてください。

松原：アメリカンスイーツ専門店にしたのは、私が好きな映画や音楽の影響が大きいです。カップケーキやクッキーのほか、浜北では珍しいヴィクトリアケーキやキャラロットケーキも作っています。お客様の年齢層は幅広く、若い方からは「初めて食べた！」、年配の方からは「懐かしい味」と言っていただけたことがとても嬉しいです。

川合：どのスイーツも魅力的ですが、松原さんのおすすめを教えてください。

松原：1つに絞るのが難しいですね…。すべての商品に自信をもっていますので、ぜひお越しいただいて、お客様の感想を伺ってみたいですね！

私は今回、クッキー、チョコレートケーキ、カップケーキをいただきましたが、どれも美味しくてリピーターになると思います！個人的にはブルーベリーチーズのカップケーキが特に気に入りました。取材中もたくさんのお客様が来店し、目を輝かせながらスイーツを選んでいました。松原さんやパティシエさんの温かい雰囲気も、お店の魅力をより引き立てていると感じました。午後には売り切れてしまう商品もあるので、早めの来店がおすすめです！最新情報はインスタグラムをご確認ください。

No.02 天星 News Topics

天星製油の最新のニュースをお届けします！



みんなで交通ルールを再認識しました



No.03 「旬」な天星スタッフご紹介！



袴田
美枝
事務課

Q お仕事内容は？

事務課に所属しています。主には廃油を集めてくる集荷士のサポートをしています。釣銭等の準備や、集めてきた廃油の量を一人ずつデータ化し管理しています。



Q お仕事内容は？

自社の商品である再生重油をお客様のところへ届ける仕事をしています。遠方のお客さまだと埼玉や長野まで行くので大変ですが、やりがいを感じながら仕事ができています。

Q 最近のトピックスは？

昨年、THE ALFEE のコンサートに行ったことです。私が中学生時代、通っていた学校に有名になる前のアルフィーが来てくれたのがきっかけで、よく見るようになりました。そんな中、ライブが浜松だったので見に行きましたが、その熱量に圧倒されてすごく感動しました。

Q これからの抱負をお願いします！

神社・仏閣への参拝が好きなので、秋葉神社の本宮を参拝したいです。これまで法多山や小國神社へはよく行っているので、他にも色々な神社やお寺へ行ってみたいです。目標は出雲大社へ参拝に行くことなので、いつかは実現したいですね。

Q これからの抱負をお願いします！

私はまだ入社して1年足らずですが、社内の方々の優しさや面白さに支えられ、仕事も徐々に覚えることができて、とても楽しく勤務しています。今後は、自分も周りの方や会社にもっと貢献していくように、より一層頑張っていきたいです。

No.04 環境よもやま話

【もしトラがまたトラに】

アメリカでは、ドナルド・トランプ氏が昨年末に行われた大統領選挙で圧倒的勝利を収めて、大統領の座に返り咲きました。選挙戦では夏頃からトランプ氏の優勢が伝えられ、「もしトラ」という話題があちこちから聞こえていましたが、いよいよ「またトラ」が現実となりました。このコラムでも、以前2回にわたり地球温暖化の話題を提供させていただきましたが、今回はその続報ということで、今後のアメリカの政策によっては地球規模の環境問題に発展することを危惧して寄稿させていただきます。

トランプ氏は、大統領に復帰した直後に、経済発展を阻害している「パリ協定」から離脱する署名をしたと報じられました。自由経済の観点で制約が生じることは許されないと考えますが、全世界が地球温暖化防止のために二酸化炭素排出量削減に取り組んでいる中で、自国第一主義を掲げ、多国間協定を否定する政策はいかがなものか、と言わざるを得ません。公害のような局地的（限定的）な環境問題ではなく、地球規模の環境問題であり、全世界の理解・協力があって初めて効果が表れるものです。

直近データでは、世界全体で343億トン

/年の二酸化炭素の排出があると集計され、国別では次表のとおりとなっています。

第1位は中国で、アメリカは第2位となっており、インドまで含めた上位3カ国で50%以上を占めています。

また、国別排出量を人口で除した値=国民一人当たりの排出量で見てみると、アメリカはこの中では第1位となっており、中国の2倍近い一人当たりの排出量であることがわかります。

そのようなアメリカがパリ協定から脱退し、好き放題に二酸化炭素排出を続けたらと考えると、いたたまらない気持ちになります。多くの税金を投入して電気自動車や低燃費車の普及に力を入れたり、再生可能エネルギー発電設備の導入を図ったりしている我が国にとっては、それらが無駄になってしまふ、または国際競争力の低

下に繋がるなどの点で不公平感満載の政策転換といえるでしょう。

地球温暖化防止の取り組みは、今まさに「待ったなし」の状況に迫られています。猛暑の頻発やゲリラ豪雨の来襲などは、明らかに温暖化の影響と考えます。アメリカにおいても、度々の大型ハリケーン来襲によって甚大な人的・物的被害が生じており、いわばしっぺ返しの形で莫大な損失を被っているのです。

国連が掲げる2050年カーボンニュートラルの目標が達成されてもなお、何十年かは温暖化の危機に直面すると言われている中、持続可能な地球環境を維持していくためにも、世界各国の協調・努力が必要であることを再認識させられる「またトラ」の登場です。

(鎌田環境コンサルタント 鎌田俊己さん)

出典:World Bank Open Data

	国名	CO ₂ 排出量	世界に占める割合	一人当たり排出量
1位	中国	107.1億トン	31.2%	7.5トン/人
2位	アメリカ	48.2	14.0	14.1
3位	インド	24.6	7.2	1.7
4位	ロシア	17.0	5.0	11.7
5位	日本	10.8	3.2	8.8
6位	ドイツ	6.6	1.9	7.8
7位	イラン	6.3	1.8	7.0
8位	インドネシア	6.2	1.8	2.2

No.05 環境保全 Report

【環境測定、および訓練のご報告】

Key Word

☑ 防災 BCP 訓練 (12月)

浜名区役所振興課による防災講座
テーマ：大規模災害に備えて
～自分の命は自分で守る～

☑ KYT 交通安全訓練 (1月)

内容：道路標識および道路交通法の再確認

☑ 漏油訓練 (1月)

内容：漏油事故マニュアルの再確認、過去の事故事例からの学び

☑ 企業連絡会 (2月)



新原下善自治会の皆さんと弊社社員にて、環境保全協定に基づく企業連絡会を行いました。

項目	排ガス	放流水	観測孔(水質)
		生活環境項目	
実施日	(2024.12)	(2024.11~2025.1)	(2024.12)
測定結果	○	○	○